

【声明】

沖縄・北部訓練場へのヘリパッド建設着工強行に抗議し、
建設のための作業の中止を求めるとともに、
反対住民への全国の支援を呼びかける

2007年7月5日 日本平和委員会

那覇防衛施設局が沖縄県北部の米軍ジャングル戦闘訓練センター（北部訓練場）へのヘリパッド（ヘリコプター離発着場）建設着工を、住民の反対の声を無視して強行したことに抗議すると共に、その作業をただちに中止することを求めるものである。

この6つのヘリパッド建設は、名護市辺野古沿岸域への新米軍基地建設と一体の基地強化である。またそれは、天然記念物のヤンバルクイナやノグチゲラなど貴重な動植物が生息する、世界的にも貴重なやんばるの森を破壊するものであり、広範な環境保護団体も反対している。しかも環境アセスメントの手続きも不十分であることが明らかになっている。また、そこを拠点にヘリや海兵隊侵攻機オスプレイが激しい訓練をくり広げ、周辺住民が爆音被害と墜落の恐怖に襲われることは必至である。だからこそ、ヘリパッドに囲われる地元東村高江区の住民（約150人）は、二度にわたって反対決議をあげてきた。

このたびの建設着工は、こうした住民の声をまったく無視するものである。しかも施設局が作業終了後に村と区に着工を通知したことは、二重に住民を無視したものであり、断じて許すことはできない。この暴挙に対し、住民たちは抗議の座り込みを続けている。住民らは、「一度完成してしまうと被害はずっと続く」「子や孫、次の世代のためにも着工させてはならない」と抗議している。

この切実な声を無視し、強権をもって基地を強化し、環境を破壊する暴挙は、ただちにやめるべきである。我々はこのことを強く要求すると共に、全国にヘリパッド建設に反対してたたかう地元住民への支援を広げることを呼びかけるものである。

- 抗議先：小池百合子防衛大臣 FAX 03-5269-3270
佐藤勉那覇防衛施設局長 FAX 098-866-3375
- 激励先：「ブロッコリーの森を守る会」安次嶺現達（あしみね・げんたつ）さん宛
〒905-1201 沖縄県東村高江86 電話0980-43-2421